

令和3年4月1日の 保育所待機児童の状況について

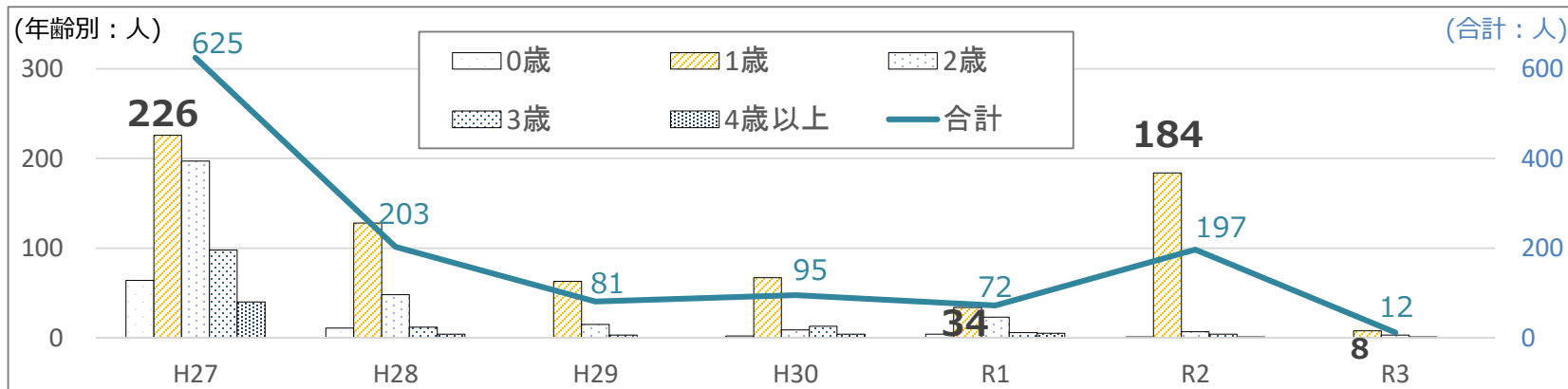
健康福祉局 子育て支援部

令和3年4月1日待機児童数(国基準)の見込み

年齢別

年齢	R2.4.1	R3.4.1	(人)
0歳	1	0	
1歳	184	8	
2歳	7	3	
3歳	4	1	
4歳以上	1	0	
合計	197	12	

推移



- 令和3年4月1日の待機児童数は12人で、昨年度の197人と比較して大きく減少。
- 令和2年度の待機児童の9割以上を占めていた1歳は、184人から8人に減少。
- また、令和2年度の1歳が進級する令和3年度の2歳についても、7人から3人に減少。

状況分析①

出生数と児童数の推移

(人)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
出生数	5,383	5,226	4,886	4,930	4,744	4,485	
	対前年	▲157	▲340	44	▲186	▲259	

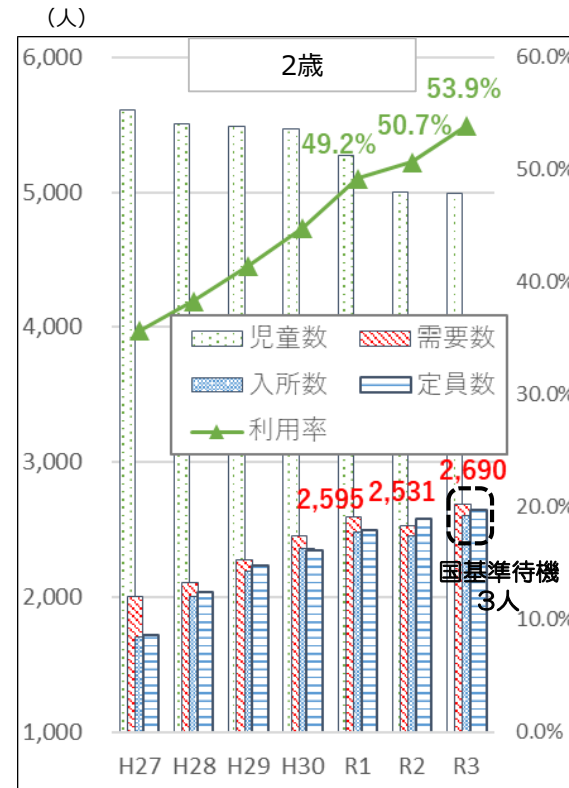
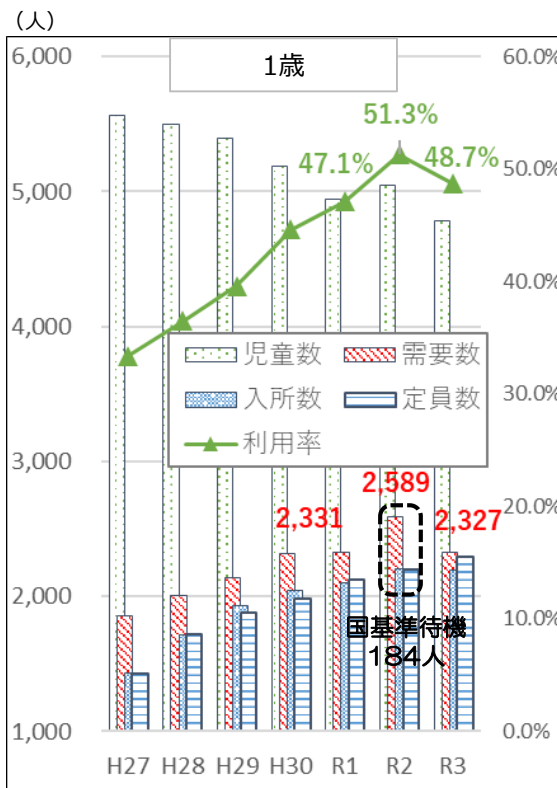
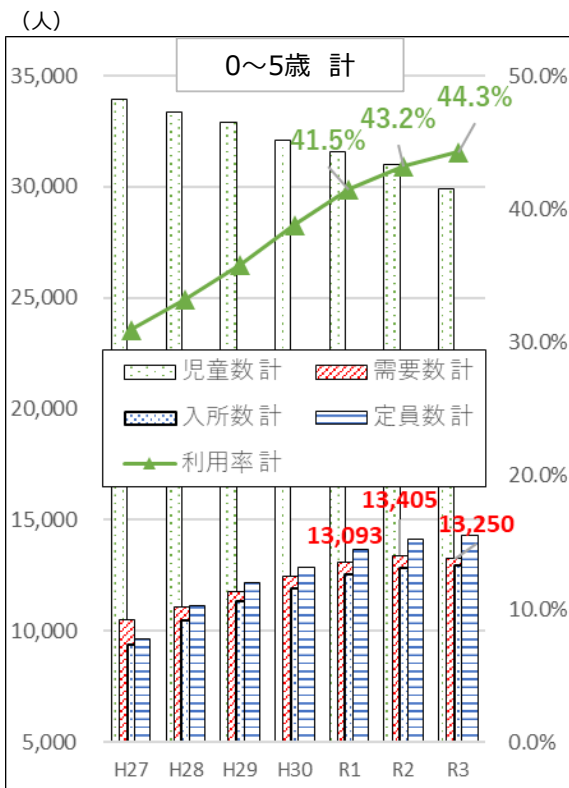
	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1
0歳	5,412	5,259	5,126	4,818	4,867	4,672	4,407
	対前年	▲153	▲133	▲308	49	▲195	▲265
1歳	5,560	5,493	5,397	5,191	4,945	5,047	4,779
	対前年	▲67	▲96	▲206	▲246	102	▲268
	対前年の0歳	81	138	65	127	180	107
2歳	5,608	5,507	5,492	5,469	5,273	4,997	4,988
	対前年	▲101	▲15	▲23	▲196	▲276	▲9
	対前年の1歳	▲53	▲1	72	82	52	▲59
3歳	5,725	5,600	5,516	5,470	5,474	5,284	5,023
	対前年	▲125	▲84	▲46	4	▲190	▲261
	対前年の2歳	▲8	9	▲22	5	11	26
4歳	5,823	5,711	5,614	5,534	5,466	5,512	5,234
	対前年	▲112	▲97	▲80	▲68	46	▲278
	対前年の3歳	▲14	14	18	▲4	38	▲50
5歳	5,804	5,806	5,733	5,624	5,541	5,492	5,487
	対前年	2	▲73	▲109	▲83	▲49	▲5
	対前年の4歳	▲17	22	10	7	26	▲25
0~5歳 合計	33,932	33,376	32,878	32,106	31,566	31,004	29,918
	対前年	▲556	▲498	▲772	▲540	▲562	▲1,086

- 令和2年度の1歳は、出生数・児童数が減少傾向にある中で、出生数の増加（対前年+44）と0歳から1歳にかけての社会増（対前年の0歳+180）が重なり、児童数が増加（対前年+102）した世代だった。
- 令和3年度は、その世代が2歳となるが、対前年比（▲9）、対前年の1歳比（▲59）ともに減少している。

状況分析②

需要数、利用率等の推移

※H27～R1：第1期子ども・子育て支援事業計画実績
 R2、R3：保育所等利用待機児童数調査（R3はR3.4.16時点で、確定値と異なる場合がある）
 ただし、定員数に企業主導型及び認証保育所の定員は含めていない。

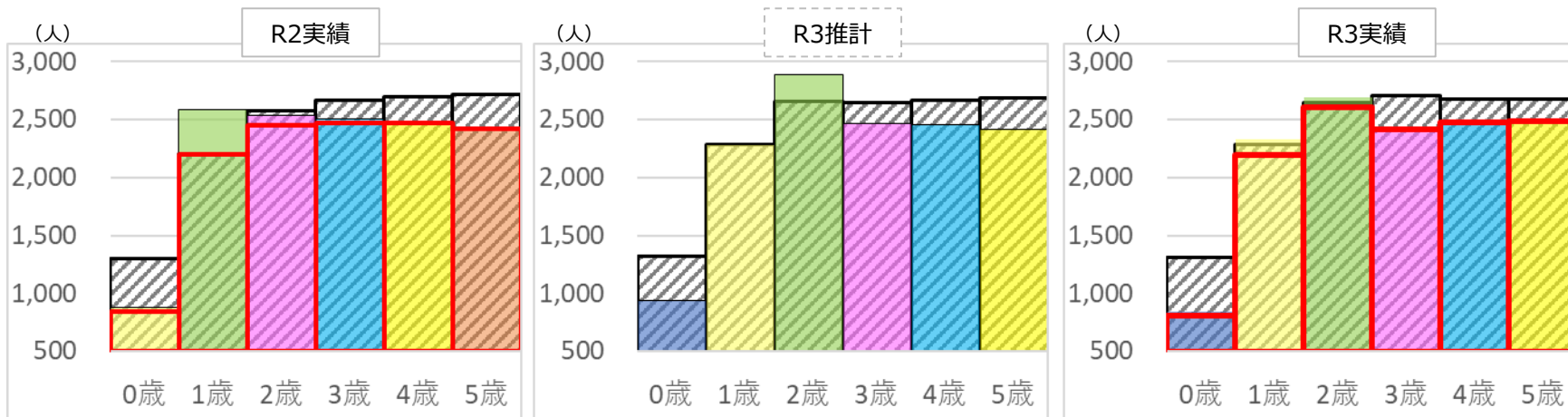


- 0~5歳全体では前年度より需要数が減少し、利用率の伸びも鈍化。
- 1歳では、児童数、利用率が令和2年度に上昇したところで待機が出たが、今年度はともに低下。
- 2歳では、緩やかになった利用率の上昇が再び大きくなり、需要数も増加。

状況分析③

令和3年度の推計と実績の比較

※R2、R3：保育所等利用待機児童数調査（R3はR3.4.16時点で、確定値と異なる場合がある）
ただし、定員数に企業主導型及び認証保育所の定員は含めていない。



【凡例】 ：定員数、：入所者数、各色棒グラフ：需要数

《令和3年度の1・2歳の需要に対する令和2年度中の対策》

- 保育園3か所、小規模保育6か所の開設等により、1歳85人分、2歳70人分の定員増。
- 申込状況等を私立保育園等へお知らせし1・2歳の受け入れについて協力を依頼するとともに、特に待機が見込まれる地域にある施設については個別に相談させていただいた。
- 公立保育園においてより多くの1・2歳を受け入れられるよう保育士の配置を調整。

		R2	R3推計	R3
1歳	人口	5,047	4,778	4,779
	利用率	51.3%	47.9%	48.7%
	需要数	2,589	2,288	2,327
	定員数	2,204	2,281	2,289
2歳	人口	4,997	5,069	4,988
	利用率	50.7%	57.0%	53.9%
	需要数	2,531	2,887	2,690
	定員数	2,576	2,658	2,646

- 令和2年10月時点では、令和3年の2歳の需要が定員を上回る可能性があるが見込んでいた。
- 上記対策と、1歳から2歳にかけての需要の伸びが想定よりも小さかったことにより、待機児童は大きく減少。

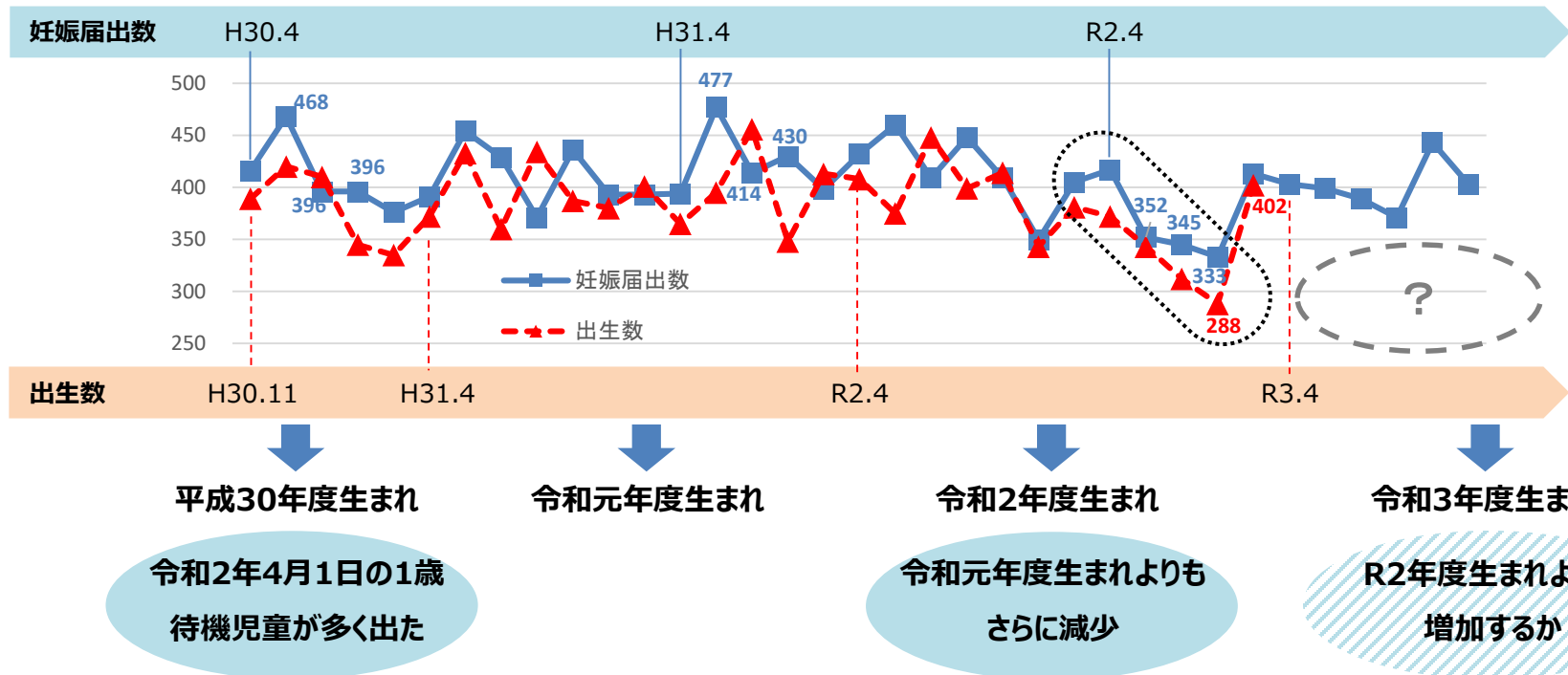
今後の見通し①

婚姻数等の推移

年度	H30	R1	R2	
婚姻数	5,358	5,965	4,964	(件)
妊娠届出数 (うち、4~2月)	4,919 (4,526)	5,026 (4,621)	— (4,268)	(件)
出生数	4,930	4,744 (対前年度▲186)	4,485 (対前年度▲259)	(人)

妊娠届出数と出生数

妊娠11週までに妊娠を届け出るよう勧奨されていること、また、妊娠週数が一般的に40週とされていることから、妊娠届出と出生に29週程度、概ね7か月の時間差があると仮定し、今後の出生数の動向を推測。



今後の見通し②

児童数の「波」のイメージ

	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4	R5	R6
出生数	4,886	4,930	4,744	4,485	?			
0歳	5,126	4,818	4,867	4,672	4,407	?		
1歳	5,397	5,191	4,945	5,047	4,779	少	?	
2歳	5,492	5,469	5,273	4,997	4,988	少	少	?
3歳	5,516	5,470	5,474	5,284	5,023		少	少
4歳	5,614	5,534	5,466	5,512	5,234			少
5歳	5,733	5,624	5,541	5,492	5,487			

待機増加

コロナ禍における「産み控え」?

反動で出生数が多い世代になった場合、待機増加の可能性

- 令和2年度の婚姻数、妊娠届出数、出生数が例年より減少することから、令和4年度についても1・2歳の待機児童は少ないと考えられる。
- 上記の傾向が、新型コロナウイルス感染症の影響によるものである場合、令和3年度以降に反動で出生数が増加することも考えられるため、引き続き、婚姻数や妊娠届出数などを注視し、出生数増減の前兆の把握に努める。
- 新型コロナウイルス感染症が保育利用率に与える影響も不透明であるため（経済的な理由から就労率・保育利用率が高まるのか、働き方の変化や感染への懸念により保育利用率が低下するのか）、年度途中の申込状況を注視する。
- また、地域ごとの待機の状況等を精査し、適切な保育の受け皿確保と供給量の適正化を図る。